

千葉 玖美さん（平成25年卒）

北上市立南保育園 保育士

◇お仕事の内容を教えてください

日々、子ども達と関わっていく中で、基本的な生活習慣や社会性を身に付けられるよう寄り添いながら保育をしています。

また、遊びや行事を通して、心身の健やかな成長の手助けもしています。

◇仕事を通じどんなことに喜びを感じますか

小さな事でもできなかったことが少しずつできるようになったり、子ども達みんなであつたことを達成したりした時に、心がジーンと熱くなり喜びを感じます。

それまでの過程も見ているので成功や失敗を繰り返して、成長していく子ども達に感動させられています。



◇将来の夢を教えてください

社会人になってから、先輩に誘われ鬼剣舞を始めました。まだまだ練習が必要な私ではありますが、鬼剣舞をやっている保育園に異動した際は、この経験を活かし、子ども達と一緒に楽しく踊れる日が来るといいなと思っています。

◇専大北上高校ではどんな高校生活を過ごされましたか

専大北上高校で吹奏楽をやりたくて入学し、家にいる時間よりも学校にいる時間の方が長いのではないかとはいくらくらい3年間部活三昧の日々を送りました。部員数が多いが故に「誰かがやってくれる」「自分じゃなくても…」という気持ちが始めの頃はあつたのですが、先生の言葉や先輩たちの姿を見て、人数が多ければ多いほど一人一人の役割や気持ちが大切になってくるということを学びました。

嬉しいことも、辛いこともありましたが、100人を超える部員の一員として仲間と一緒にたくさんの演奏の場を経験することができ、とても嬉しく、思い出に残っています。

◇専北生に伝えたいメッセージは何ですか

私は、吹奏楽の経験を経て将来も音楽に携わっていきたいと思い、保育士を目指しました。高校での様々な経験が将来へのきっかけに繋がることもあると思うので、一度きりしかない高校生活を思いきり楽しんで過ごして行ってほしいなと思います。

☆取材後記

コロナ禍の中、感染防止対策を講じておられるとは言え、感染するリスク、させるリスクに囲まれながら、それでも溢れる笑顔で子供たちに接しておられる姿に強いプロ意識を感じました。

千葉さん、益々のご活躍を！（担当：Y）